

平成30年度

社会福祉法人 若楠

事業報告書

目 次

本部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3～ 5

- I 法人の運営概要
- II 理事会・評議員会及び監事の監査状況
- III 職員研修・福利厚生事業
- IV 入札を伴う契約及び随意契約
- V その他法人主催行事

若楠療育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 6～17

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 地域社会と交流
- V 総務

若楠児童発達支援センター・・・・・・・・・・・・ p 18～20

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況

若木園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 21～29

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 保健衛生
- V 食事班
- VI 地域支援
- VII 地域社会と交流
- VIII 総務

青葉園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 30～36

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 生産型活動における生産品等、販売実績
- V 保健衛生班
- VI 栄養課
- VII 総務課
- VIII 障害福祉サービス事業及びその他社会福祉事業の実施状況
- IX 地域社会との交流

もしもしネット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 37～39

- I 障害者就業・生活支援センター事業の実施
- II 研修の受講
- III その他
- IV 総括

どんぐり村・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 40～43

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- VI 地域社会との交流
- V 総務

グリーンファーム山浦・・・・・・・・・・・・・・・・ p 44～49

- I 運営の概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 地域社会と交流
- V 総務

本 部

I 法人の運営概要

平成30年度は、人材の育成・確保と働きやすい職場づくりに取り組んだ。大きな事故なく運営を行うことができ、人材育成・確保の面では、法人研修をとおして職員を育成するとともに、個別面談やメンタルヘルス研修を実施し、離職防止・健康促進に取り組んだ。また、働きやすい職場づくりの面では、働き方改革に向けた就業規則の見直しを行った。

法人全体として、福祉を取り巻く環境の変化の中で、「法人若楠の基本理念」からぶれることなく、安定した運営・サービスの向上・職員の育成に努めることができた。

II 理事会・評議員会及び監事の監査状況

1 理事会の開催

第1回 理事会

日時 平成30年6月1日（金） 午後3時00分より

場所 若楠療育園 会議室

理事出席者 6/9名 監事出席者 1/2名

議題 第一号議案 平成29年度事業報告並びに決算
第二号議案 定款変更
第三号議案 若木園放課後等デイサービス事業の一時休業について
第四号議案 諸規則の改正
第五号議案 施設設備等整備事業
第六号議案 定時評議員会の日程について
報告事項 平成29年度指定障害福祉サービス事業者等書面監査改善状況報告書
及び監事意見書「若木園」「青葉園」

第2回 理事会

日時 平成30年12月7日（金） 午後4時00分より

場所 花やしき

理事出席者 8/9名 監事出席者 2/2名

議題 第一号議案 平成30年度予算執行状況
第二号議案 平成30年度補正予算案
第三号議案 新規事業開設について
第四号議案 諸規則の改正
第五号議案 施設設備等整備事業
報告事項 ・平成30年度指定障害福祉サービス事業者等実地指導結果通知書
「青葉園」「若楠児童発達支援センター／若楠療育園」

第3回 理事会

日時 平成31年3月8日（月） 午後3時00分より

場所 若楠療育園 プレイホール

理事出席者 9/9名 監事出席者 2/2名

議題 第一号議案 平成30年度予算執行状況

第二号議案	平成 30 年度補正予算案
第三号議案	平成 31 年度事業計画案
第四号議案	平成 31 年度予算案
第五号議案	若木園放課後等デイサービスの再開について
第六号議案	三瀬地区どんぐり村用地の購入
第七号議案	諸規則の改正
第八号議案	施設設備等整備事業
報告事項	・平成 30 年度指定障害福祉サービス事業者等実地指導結果通知書 「若木園」 ・平成 30 年度社会福祉法に基づく指導監査改善報告書

2 評議員会の開催

定時評議員会

日時 平成 29 年 6 月 15 日（金） 午後 4 時 00 分より

場所 花やしき

評議員出席者 9/10 名 監事出席者 2/2 名

議題 第一号議案 平成 29 年度事業報告並びに決算

第二号議案 定款変更

報告事項 理事 1 名の欠員補充についての書面決済結果

3 監事の監査

第 1 回監査（平成 30 年 5 月 28 日）

平成 29 年度決算内容及び各施設の諸帳簿、財務諸表等の監査（平成 29 年度決算最終監査）
法人全体の平成 29 年度における預金通帳、諸帳簿、入園者の処遇及び預り金等の監査

Ⅲ 職員研修・福利厚生事業

1 職員研修

新採用職員研修

日時 平成 30 年 4 月 2 日（月）、3 日（火） 両日とも午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

場所 若楠療育園プレイホール、どんぐり村研修室、各施設

内容 職員の心得・法人理念・福祉制度・理念の実践演習・各施設見学等

新採職員どんぐり村実習

日時 平成 30 年 4 月 29 日（土）～5 月 6 日（日） 各日とも午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

場所 どんぐり村

内容 実地研修

1 年経過者職員研修

日時 1 班 平成 30 年 4 月 27 日（金） 2 班 平成 30 年 5 月 11 日（金） 各日とも午後 1 時から午後 5 時まで

場所 若楠療育園プレイホール

内容 法人理念、グループワーク「1 年を振り返って」、先輩からのメッセージ、自己目標の発表

主任等研修

日時 平成 30 年 7 月 13 日（金） 午後 1 時から午後 5 時まで

場 所 若楠療育園プレイホール
内 容 理事長講話、常務理事講義、ディスカッション

メンタルヘルス研修

日 時 1班 平成30年9月27日(金) 2班 平成30年10月4日(金) 各日とも午後1時から午後5時まで
場 所 若楠療育園プレイホール
内 容 講話「メンタルヘルスについて」、グループワーク

課長等研修

日 時 平成30年9月7日(金) 午後1時から午後5時まで
場 所 若楠療育園プレイホール
内 容 理事長講話、常務理事講義、ディスカッション

2 運営

平成30年度中間業績報告会

日 時 平成30年11月2日(金) 午後2時から午後5時まで
場 所 若楠療育園プレイホール
内 容 法人若楠の運営方針・各施設の平成30年度事業中間報告

平成31年度事業計画説明会

日 時 平成31年3月1日(金) 午後2時から午後5時まで
場 所 マリーゴールドブルミエ
内 容 法人若楠の運営方針・各施設の平成30年度事業計画発表

3 福利厚生

職員健康診断

期 日 平成30年9月11日(火)～14日(金)、9月18日(火)～19日(水)
検査項目 35歳以上 生活習慣病健診 35歳未満 定期健診
対 象 者 538名(受診者426名・他病院112名)

夜勤者健康診断

期 日 平成30年2月～3月
検査項目 一般健診
対 象 者 夜勤者161名(若楠療育園56名・若木園33名・青葉園72名)

コーワパークホテル湯布院倶楽部利用券発行 利用促進の案内(随時)及び利用券の配布

V 入札を伴う契約及び随意契約

入札を伴う契約・・・該当なし 随意契約・・・・・・該当あり

VI その他法人主催行事

平成30年4月2日(月) 新年度会(入社式)
平成30年5月1日(月) 第41回創立記念式典(永年勤続者表彰)
平成31年1月4日(金) 新年挨拶の会

若楠療育園

I 運営概要

1 運営方針（実施結果）

若楠療育園は、社会福祉法人若楠の基本理念のもと、各事業における支援の質の向上を図り、入園・在宅利用者のニーズに真摯に応えるとともに、地域連携・地域貢献にも力を注いだ。

（1）適正な人員配置を維持し、各種個別支援計画のもと快適で安全なサービスを実施

産休育休等の職員の支援をおこないながら、適正な人員配置を保った。また、利用者一人ひとりの状況に応じた良質かつ安心していただけるサービスの提供に努めた。

（2）短期入所事業等の地域福祉サービスの拡大及び利用者増を図った

短期入所事業では、医療的ケア児等在宅支援事業の受託等によりケースワーカーの位置づけを図り、重度の障害児者の利用増に繋がった。

今後も在宅ニーズを踏まえ、医療的ケア児等も含めた重度障害児者の利用の拡大に努めていきたい。

（3）地域の障害児者・法人内施設利用者等への外来診療（歯科を含む）の積極的実施

外来患者数に加え発達障害関連の診察・検査・紹介状の作成が増加した。また、歯科診療では、診療設備を整えたことにより患者増にも繋がった。

（4）防犯・防災体制の強化

利用者の安心安全な生活維持のために、防犯対策を継続し、園内の施錠時間の限定等による不審者対策をおこなった。防災に対しては、毎月の防災訓練に加え、災害を想定した防災食の実提供の訓練もおこない、有事の際にも安定したサービスが提供できるよう体制づくりに努めた。

II 利用者の状況

1 年齢

（1）療養介護・医療型障害児入所（入所）

年齢	20 未満	20～39	40～59	60～	合計
男	3	11	8	14	36
女	2	11	13	15	41

（2）生活介護（通所）

年齢	20 未満	20～39	40～59	60～	合計
男	2	15	1	0	18
女	1	11	3	0	15

(3) 児童発達支援（重心）

年齢	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	合計
男	0	1	1	0	1	3	6
女	0	0	0	0	0	1	1

(4) 放課後等デイサービス（重心）

年齢	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	合計
男	0	0	4	0	1	5
女	0	2	0	0	1	3

Ⅲ 事業の実施状況

1 医療部

(1) 医療課（外来）

外来受診者総数は 18,444 人から 19,550 人と増加。顕著に増加していたのは小児発達外来と小児一般外来であった。

①小児発達外来の増加

平成 30 年度発達外来受診総数は 11,086 人（前年度は 10,024 人で+1,062 人）と大幅に増加した。要因としては次のことが考えられる。

- ・相談件数の増加に伴い、発達検査数が増加している。
平成 29 年度 352 件 → 平成 30 年度 462 件
- ・検査、診断後のフォローアップやリハビリ待機者のための「にこにこひろば」、作業療法評価、言語訓練評価など外来受診を通しておこなうようになった。
- ・発達障害児への投薬件数が増加しており、定期外来受診数が増加している。

②小児科受診数の増加

- ・小児科一般診療（1,794 人→1,894 人）、予防接種（1,031 人→1,238 人）、乳児検診（58 人→80 人）と増加している。
- ・小児科常勤医師が 2 名体制となり、分担して診療ができるようになったこと、外来看護師も増えたことにより 1 日に診療可能な予約患者数を増やすことができた。
- ・地域のこどもの数は多いが、周辺に小児科がないことから、当園小児科の存在を知り、受診者数が増加しているのではないかな。
- ・小児発達外来受診者がそのまま小児一般診療をおこなうケースも増えている。

<外来者総数>

	青葉園	若木園	職員	一般外来	合計
30 年度	2,309	1,391	1,107	14,751	19,550

<外来受診状況>

	小児科	発達外来	精神科	内科	皮膚科	リハ科	合計
30 年度	1,894	11,086	3,452	409	249	72	17,162

＜外来受診状況 保険外＞

	一般健診	乳児健診	予防接種	インフル	診断書	合計
30 年度	283	80	1, 238	1, 069	406	3, 076

(2) リハビリテーション課

①「障害児（者）リハビリテーション料」施設基準

- ・施設基準に基づいた入園者、在宅利用者への理学療法（PT）、作業療法（OT）、言語聴覚療法（ST）の実施。
- ・入園者については3職種全ての担当者を配置。加齢に伴う機能低下等の早期発見、報告、対応に努めた。

②佐賀県療育支援事業

- ・予算上限が定められた中、管理をおこないながら県内在住の希望者、通所事業所に対して「外来相談」「訪問相談」「研修会講師派遣」をおこなった。

③法人内施設ニーズへの対応

- ・青葉園、若木園利用者のニーズに対しては定期時間枠を設け、各種ニーズに専門職が対応した。

④巡回相談

- ・保育園、幼稚園のニーズに対し、専門職が保育士へ助言・指導をおこなった。

⑤専門性の研鑽

- ・担当分野を明確に研修参加などにより専門性の向上に努めた。
 (PT)「疼痛」、「呼吸」、「乳児期運動発達」
 (OT)「日常生活動作」「福祉用具」「発達障害」
 (ST)「コミュニケーション」「摂食・嚥下機能」「社会的技能」

(3) 歯科

①診療実績

- ・実患者数と延べ患者数でそれぞれ前年度比 107.5%、102.3%と増加した。
- ・他施設からの紹介患者は 35 名であった。
- ・全身麻酔は 46 名に実施した。

②保険収入

- ・前年度比 116.5%と増加した。

③研究活動・学会発表等

- ・日本障害者歯科学会（東京）にて 1 演題を発表。
- ・障害者歯科アクティブネットワーク九州（福岡）にて 1 演題を発表。
- ・日本小児診療多職種研究会（北九州）にて 1 演題を発表。

④地域への貢献

- ・佐賀県歯科医師会の障害者歯科地域協力医研修会に講師を派遣した。
- ・鳥栖・三養基地区の歯科医師会や保健福祉事務所と連携した難病患者等歯科保健事業ネットワーク検討会に参加した。

- ・ 歯科衛生士学校の講義の講師派遣（3 校：九州医療専門学校・佐賀歯科衛生専門学校・久留米歯科衛生専門学校）と当園での臨床実習指導（1 校：九州医療専門学校）をおこなった。

< 歯科受診者状況 >

（のべ患者数）

	若楠療育園	青葉園	若木園	一般外来	職員	合計
29 年度	1, 073	1, 243	329	1, 822	41	4, 508
30 年度	859	1, 422	351	1, 932	46	4, 610
前年比	80. 1%	114. 4%	106. 7%	106. 0%	112. 2%	102. 3%

< 他施設からの紹介の状況 >

	開業歯科医院	佐賀整肢学園 歯科	久留米大学病院 歯科口腔医療センター	聖マリア病院 歯科	福岡大学	柳川バプテスマン病院 歯 科	合計
29 年度	5	1	6	3	1	0	16
30 年度	20	2	8	4	0	1	35

（4）栄養課

①栄養管理・入園者の食形態

< 食種別人数の変化 >

平成 30 年 4 月 昼食 79 名		平成 31 年 3 月 昼食 77 名	
常食	48	常食	48
減塩食	1	減塩食	1
糖尿病食	2	糖尿病食	1
脂質異常食（減 1 含む）	2	脂質異常食（減 1 含む）	2
脾臓食	1	脾臓食	1
消化食	2	消化食	（脂質 1）
絶食	0	絶食	3
流動食	23	流動食	19
		離乳食	2

< 食形態別人数の変化 >

	常食	荒刻み食	刻み食	ソフト食	荒ミキサー食	ミキサー食	流動食
平成 30 年 4 月 昼	15 名	5 名	20 名	9 名	0 名	1 名	26 名
平成 31 年 3 月 朝	15 名	5 名	20 名	10 名	0 名	2 名	20 名
離乳食 昼:2 名 夕:1 名				胃ろうペースト 昼・夕 1 名			

< 地域支援・児童発達の昼月述べ平均 >

事業名	月平均食数	事業名	月平均食数
生活介護	349 食（短期入所昼食含む）	短期入所	朝 44 食 昼 68 食 夕 49 食
児童発達	129 食（発達 92、重心 37）	託児所	182 食

(5) 薬局

- ①調剤数は、法人内施設においては増減が少ないが、外来において増加している。
- ②勤務時間に時間差を導入したことにより、一人調剤がなくなった。
- ③外来において、小児神経系の医薬品が増加している。内服状況の確認など薬剤師の介入が必要になっている。
- ④錠剤自動分割分包機を使いこなすことにより、定期薬調剤の効率化ができた。

<各施設の調剤数>

	27年度	28年度	29年度	30年度
若楠療育園	15,858	14,947	16,180	14,607
青 葉 園	1,552	10,369	10,354	10,071
若 木 園	5,730	5,377	5,483	5,340
グループホーム	652	1,154	1,170	914
一 般 外 来	6,253	6,740	7,723	8,947
合 計	30,045	38,587	40,910	39,879

(6) 放射線

- ①撮影件数は減少している。要因のうちのひとつとして、入園者の胸部・腹部の撮影件数の減少がある。

<エックス線撮影件数（年度別）>

26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
627件	704件	851件	802件	773件

<平成28年度 X線検査総数>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ポ ー タ ブ ル ・ 撮 影 室	胸部	143	132	46	17	14	18	21	41	14	14	17	8	485
	胸腹部	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	腹部	3	0	5	4	1	3	1	1	0	0	1	3	22
	躯幹部骨	5	2	7	0	1	5	1	4	4	6	0	1	36
	四肢骨	0	1	6	3	4	0	2	2	2	2	1	1	24
	骨塩定量	0	0	0	13	13	12	0	0	0	12	15	11	76
	PS・IT交換	1	8	8	7	9	8	9	7	9	10	5	9	90
	パノラマ	4	1	5	3	3	1	2	1	3	1	0	2	26
	小計	156	144	77	47	45	47	36	56	33	45	39	35	760
透 視 室	PS・IT交換	3	3	1	0	1	0	1	0	1	0	1	2	13
	小計	3	3	1	0	1	0	1	0	1	0	1	2	13
	総計	159	147	78	47	46	47	37	56	34	45	40	37	773

2 入所支援部

(1) 看護課

①10 対 1 看護体制の継続と看護・介護サービスの向上

- ・ 10 対 1 看護体制は継続することができた。
- ・ 高齢化、重度化により 6 名の利用者が亡くなり、1 名他施設へ転院。
新規に 6 名（在宅から 3 名、NICU から 2 名、乳児院から 1 名）の方が入所。
- ・ 医療的ケア児の看護、介護、環境整備が必要になり、重症児に関する勉強会を施した。

②短期入所サービスの充実と利用者の積極的な受け入れ実施

- ・ 登録者数 59 名、年齢層 3～49 歳、年間利用延べ人数 498 人、1 日 2.71 名利用、新規契約者 7 名、緊急時受け入れ 3 名。
- ・ 年々医療的に重度の利用希望者が増加、土日に集中している等、生活介護と日中一時のスタッフと情報交換と課題について会議をおこなった。
- ・ 保護者より 2 件の苦情があり、速やかに対応すると共に利用者の安心安全の受け入れ態勢の整備と情報発信をおこなった。

③感染防止・医療安全対策の強化

- ・ 医療安全研修として「アクシデントレポートの 4M を探る」「楽しく安全に食べるために」を実施。日々の支援からヒヤリハット（気づき）を強化し、アクシデント件数の減少につなげた。
- ・ 感染防止研修として「手洗い強化週間」「感染症を学ぶ、吐物処理シュミュレーション」を実施した。麻疹流行に伴い情報発信、外来の感染対策経路入口にスタンド式手指消毒器を追加した。
- ・ 毎月ラウンドを実施し、職員の清潔に関する意識向上を図った。
- ・ 利用者からインフルエンザ・ノロウイルスの発生はなかった。

④ユニットケアの充実を図る

- ・ 各ユニットの年間目標を掲げ、安心安全なサービスを提供した。
- ・ 看護計画、療育活動等、日々の生活がより豊かなものになる様に、情報発信、周知徹底、報連相を図った。
- ・ ユニットの年間計画に添って、家族、保護者と交流を図り、信頼関係を深めることができた。

(2) 生活支援課

①快適で質の高い日中活動および行事等の企画実施

- ・ 0～80 歳代までに年齢層の幅が広がりニーズが多様化した。一人ひとりの生活が豊かなものになるよう様々な経験に結びつく療育活動を実施した。
- ・ 入園者のニーズを的確に把握し計画・実施するために各職種と連携した。他に、ご家族や計画相談事業所、児童相談所、行政等の関係機関との情報交換や連携も強化できるよう努めた。

- ・乳幼児期やターミナル期に対しての療育など求められるものが増大してきた。個別、グループ、全体活動とその都度対応し実施した。また、一人ひとりの楽しさを追求し計画実施に繋げるお楽しみ会を実施することで、個別性の高いニーズに応えることができるようになった。

②職員のスキルアップ

- ・ファミリーデーの中止に伴い当初実施する予定の企画を療育園祭やクリスマス会に組み込み実施するようになったが、迅速に対応することができた。保護者の要望に応え、もちつき行事をクリスマス会の中で実施し、発想の転換や創意工夫により入園者、保護者、職員が共に参加し楽しめた行事を開催することができた。
- ・サビ管ネットワーク会議に参加し他施設と交流や情報交換をおこない、当園での課題や改善点の見直しに繋げることができた。

③保護者との信頼関係の維持構築

- ・誕生会を入園者の誕生日毎におこなうスタイルに変更し、ご家族と職員と一緒に祝うことに繋がり満足度が上がった。
- ・保護者の会の勉強会を2回実施し「若楠40年の歩み」と「入園者の終活について」の講演をおこなった。入園者の重度化や高齢化、親亡き後への相談が増加しており、ご家族が安心できるようその都度迅速に対応した。
- ・児童相談所が介入した措置入所者の増加に伴い、ご家族との関係構築の有り様が変わってきた。児童相談所とのルールに基づいた関係性を築く必要がでてきている。

④地域との連携強化

- ・変化してきた近年のボランティア活動についての考え方を交え、理解や促進に繋げることができるよう勉強会での講義をおこなった。懇親会ではより懇親が深まるような内容を取り入れた。感染時期や天候の影響も考慮し、開催時期の検討をおこなった。
- ・退職者にかかわら版の郵送補助作業のボランティアを引き受けて頂き、新規ボランティアの発掘に繋がった。

<年間行事>

月	行 事	月	行 事
4 月	花祭り（4 日） 中原特別支援学校入学式（10 日） 前期面談会（7 日～22 日） 保護者の会総会（15 日）	10 月	療育園祭（21 日） 第2生活棟ハロウィン（30 日）
5 月	創立記念日式典（1 日） 保護者の会勉強会（13 日） わかす杯ふうせんバレー大会（26 日） 野球観戦（27 日）	11 月	若楠保護者の会ボランティア（23 日） 若楠感謝祭（23 日）
6 月	お楽しみ会・第2生活棟懇親会（9 日） 聖ヨゼフ園交流会（13 日）	12 月	お楽しみ会・はばたきカラオケ大会（8 日） 若楠療育園クリスマス会（15 日）

	総合防災訓練(20日)		保護者・職員懇親会(15日) すき焼き会(26日)
7月	ボランティア勉強会(22日) 若楠ファミリーデー(8日)→中止	1月	新年の祝い(1日～3日)
8月	弥生が丘夏祭り(18日) 第2生活棟夏祭り(21日) 第1生活棟夏祭り(22日)	2月	法人若楠ボランティア懇親会(3日) 園内研究発表会(6日) 梅まつり(24日)
9月	後期保護者面談会(15日～24日) 夜間防災訓練(28日)	3月	中原特別支援学校卒業式(14日) 保護者の会勉強会(21日)

※季節・小行事、ユニット行事(家族参加も含む)はユニット単位でおこなった。

3 地域支援部

(1) 地域支援課

①安定的な事業運営

- ・制度改正後、適正な対応を実施した。
- ・生活介護事業は、新規登録者3名増員し利用延べ人数も増加した。

②障害の重度化・高齢化への対応と医療的ケア児への支援

- ・研修会の参加や勉強会などにより専門性の向上に努めた。
- ・PT、OT、STや相談支援専門員などと連携を図り利用者のニーズ対応に努めた。

③業務の効率化及び明確化

- ・業務の評価、改善を実施し円滑な生活支援・看護・介護等の業務遂行ができた。

④地域福祉サービスの拡充

- ・(新設)居宅訪問型児童発達支援の指定を受け、3月に1名と契約ができた。

<各事業利用者数推移>

・生活介護事業

	登録者数	実施日数	利用延人数	1日平均利用者数
29年度	30	302	3,550	11.7
30年度	33	312	3,795	12.2
前年度比	+3	+10	+245	+0.5

・多機能型(重心)児童発達支援・放課後等デイサービス

	登録者数	実施日数	利用延人数	1日平均利用児数
29年度	14	238	1,024	4.3
30年度	16	243	1,010	4.1

・日中一時支援事業

	利用契約者	利用延件数	1日平均利用件数
29年度	75	1,837	5.0
30年度	65	1,872	5.1

・ 居宅介護等事業

	利用契約者	利用延件数	1 日平均利用件数
29 年度	20	1, 885	5. 1
30 年度	17	1, 685	4. 6

・ 福祉有償運送サービス

	利用契約者	サービス延件数
29 年度	23	1, 299
30 年度	16	1, 116

(2) 総合相談室

①計画相談事業

	障害者	障害児	計
29 年度	738 件	601 件	1, 429 件
30 年度	786 件	556 件	1, 342 件

※30 年度の報酬改定で、特定事業所加算 (Ⅲ) 取得

②佐賀県療育等支援事業

	外来相談	訪問相談	施設職員等支援	療育機関支援
29 年度	2, 369 件	556 件	162 件	2 件
30 年度	986 件	348 件	57 件	27 件

※30 年度は県予算が 650 万 (今までは上限なし) になったため件数の減少あり。

減少した分は医療、自己負担サービス、鳥栖市からの委託事業などに変更。

③認定調査

29 年度	63 件
30 年度	58 件

④鳥栖市巡回支援専門員整備事業

- ・ 鳥栖市からの委託事業 (平成 30 年 5 月～)
- ・ 鳥栖市内の幼稚園、保育園を中心に 204 件 (平成 30 年 5 月～平成 31 年 3 月)

4 事務部

(1) 事業種別に応じた適正な事務処理及び情報発信

- ①毎月の各種事業の実績および会計データの分析をおこなった。さらに、職員の配置基準等を月ごとに確認。安定的な運営ができた。

(2) 業務の効率化のさらなる徹底

①業務改善に取り組んだが、継続して取り組む必要がある。

(3) 良好な職場環境の提供

①衛生委員会を中心に、メンタルヘルス室と連携しながら良好な環境づくりに努めた。

②広く職員に参加を呼びかけ、各課対抗ポッチャ大会を企画、職員の親睦を深めることができた。

IV 地域社会との交流

1 実習生の受け入れ

＜平成 30 年度 受入状況＞

実習生人数	388 人
実習の種類	実習校
理学療法士	緑生館・西九州大学
作業療法士	西九州大学・福岡国際医療福祉学院
言語聴覚士	麻生リハビリテーション大学校・福岡国際医療福祉学院
歯科衛生士	九州福祉医療専門学校
保育士	西九州大学子ども学科・佐賀女子短期大学・福岡こども短期大学 中村学園大学・九州龍谷短期大学・九州大谷短期大学 西九州大学短期大学部
介護福祉士	神埼清明高校
社会福祉士	久留米大学
看護師	純真高等学校看護専攻科・緑生館・純真大学看護専攻科 精華女子高等学校・九州アカデミー看護専門学校 聖マリア学院大学・金立特別支援学校
調理師・栄養士	平岡調理専門学校・西九州大学短期大学部
臨床心理士	福岡女学院大学大学院・西南学院大学大学院・西九州大学大学院
医学科学外学習	久留米医大
見学実習	福岡こども短期大学・筑紫女学院大学・香蘭女子短期大学

2 ボランティア

(1) ボランティア

＜受け入れ＞

ボランティア延べ総数 649 名（月平均 54 名）	
ボランティア内容	
生活場面	・ヘアメイク
行事	・わかす杯・弥生が丘夏祭り・療育園祭・クリスマス会 ・第 2 生活棟懇親会
クラブ活動	・華道クラブ・茶道クラブ・木りんクラブ・カラオケクラブ ・エンジョイお話クラブ・フラワーアレンジ・コールとりんす
趣味・余暇	・朗読・散歩・話し相手・マッサージ
その他	・裁縫・壁画制作・空調、配電の点検整備・車椅子清掃 ・かわら版郵送補助

<啓発活動>

名 称	月 日	参加数	内 容
ボランティア勉強会	7/22 (日)	30 名	体験講座他 「絵本と読み聞かせがもたらす喜び〜共に響きあう幸福感〜」
法人若楠 ボランティア懇親会	2/3 (日)	62 名	ボランティア紹介 アトラクション (絵手紙制作)

3 交流活動

(1) 地域行事への参加

・弥生が丘夏祭り ・青葉園感謝祭 ・グリーンファーム山浦梅まつり

(2) 地域芸術スポーツ行事への参加

・コールとりんす定期コンサートの参加 (鳥栖市社会福祉会館)
・野球観戦 (ヤフオクドーム)

(3) 中原特別支援学校 交流行事への参加

・入学式・卒業式・校外学習・文化祭・体育祭参加
・芸術観賞会・修学旅行

V 総務

1 職員の状況

<職員数 (年度末) >

	医師 (常勤)	医師 (非常勤)	歯科医師 (常勤)	歯科医師 (非常勤)	薬剤師	診療放射線技師	歯科衛生士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	相談支援員
29 年度	4	7	1	2	5	1	5	7	8	10	3	7
30 年度	4	7	1	3	5	2	5	7	10	13	2	7
増 減	0	0	0	1	0	1	0	0	2	3	-1	0

	看護師	准看護師	ケアワーカー	生活支援員	管理栄養士	調理師(員)・調理事務	事務員	環境整備員	施設管理員	ホームヘルパー	託児所職員	合 計
29 年度	47	21	23	40	2	14	12	6	1	3	11	240
30 年度	48	23	23	43	2	13	12	6	1	4	10	251
増 減	1	2	0	3	0	-1	0	0	0	1	-1	11

※契約職員を含む。生活支援員は、介護福祉士・社会福祉士・保育士の資格保有者を含む

2 職員研修

(1) 園内研修

研修名	テ ー マ	場 所	期日	講 師
園内研修	アテンションレポートの4Mを探る	若楠療育園	5/16	医療安全事故防止委員会 研修委員会
	一流芸人の究極思考「なんでやねん力」	若楠療育園	6/22	Wマコト
	楽しく安全に食べるために	若楠療育園	11/28、30	リハビリテーション課スタッフ
新採用職員研修	OJT 研修	若楠療育園	4 月	園内職員

(2) 園内研究発表会

発表演題	発 表 者
脳性麻痺を呈した症例に対する集団参加へのアプローチ	リハビリテーション課 伊藤 綾香
口腔ケア介入時の循環動態の変動	歯科 スタッフ
ASD 児の自発的なコミュニケーションを促す アプローチの一例	リハビリテーション課 金子 恵
「よりよい食事の提供にむけて」～調理手順の統一化～	栄養課 牟田 智恵子
親子療育による子どもの問題行動の改善と保護者の変化	児童発達支援センター 江頭 里紗
療育活動を通して楽しみの中で浮腫軽減を試みて	第1生活棟 酒井 郁美、寺尾 真澄、内田 綾子
充実した療育活動を試みて	第2生活棟 中村 佳奈、平川 菜穂子
不適応行動に対する支援 ～行動分析による食事支援の展開～	地域支援課 山崎 真由美、福田 沙織

3 防犯防災管理

- (1) 毎月1回、職員の防災意識の向上、役割分担の把握、災害時の行動力を培うため、通報・初期消火・避難誘導の防災訓練、さらに災害時の朝食提供訓練もおこなった。
- (2) 9月に、夜間非常時の職員の行動、緊急連絡網の稼働等訓練のために、今町・弥生が丘・柚比地区の方の参加協力のもと夜間防災訓練をおこなった。
- (3) 消防設備定期検査(年2回)、自主点検(随時)を実施。
- (4) 有事を想定しての様々な災害シミュレーション訓練の実施。
- (5) 継続して防犯対策を実施。

4 施設整備及び環境の整備状況

- ・地域支援課北側ウッドデッキ工事 ・地域支援課床暖房設備工事
- ・若楠療育園 園庭東側駐車場拡張工事 ・ダイハツ タント (公用車)
- ・歯科診療椅子 ・自動ジェット式器具洗浄機 ・移乗リフト
- ・車載用ストレッチャー ・重心用柵付きベッド ・ガス給湯器取替工事一式

5 寄付

ご 芳 名	
樺沢 幸 様	J A 佐賀県女性組織協議会 様
山口 一夫 様	九州納豆組合 有限会社 天野食品 様
ポアソン 様	株式会社 エクシス 様
嬉野 米治 様	若楠保護者の会 様

若楠児童発達支援センター

I 運営概要

1 運営方針（実施結果）

若楠児童発達支援センターは、社会福祉法人若楠の基本理念のもと、身近な地域の障がい児支援の拠点施設として、障がいのあるなしにかかわらず様々な子ども達のニーズに合わせた支援に努めた。そのために利用者はもちろんのこと、母親・家族への支援体制の確立を目指し、幅広く子育て支援事業を行い、子どもの健やかな育ちへの支援をセンターの担うべき役割として取り組んだ。

（1）地域の障がい児や家族への支援

若楠児童発達支援センター事業を通して、年齢・発達・特性などを考慮し、面談会やお迎えの際のご家族との情報交換等を密に行うことにより、利用児一人ひとりにあった支援に努めた。

（2）地域の障がい児を預かる施設への支援とネットワーク強化の推進

障害児療育等支援事業や保育所等訪問事業等を通して、幼保育園・学校・施設等の要請に応じて、受入れ、出張対応を行った。また、県内の療育機関や自立支援協議会等のネットワーク会議にも積極的に参加し、連携の強化に努めた。

（3）障がい児・健常児の共生の場として（育児不安を含めた）の拠点施設の役割を果たす

地域子育て拠点支援事業「どんぐりセンター若楠」は、利用者も増え、安定的な運営を図ることができた。

（4）地域の発達グレーゾーン児等の支援と家族・関連機関への具体的な支援の実施

どんぐりセンター若楠、障害児療育等支援、若楠児童発達支援センターの各々の事業機能を効果的に活かし、療育や家族等の相談等を積極的に受け入れた。

（5）メンタルヘルス室を幅広く活用して、職員の安定的な勤務支援に繋がった。

II 利用者の状況（登録者）

1 年齢

<どんぐりセンター若楠>

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	合計
男	43	33	18	11	22	127
女	52	33	21	26	22	154
合計	95	66	39	37	44	281

<児童発達支援>

年齢	3歳未満	年少	年中	年長	合計
男	15	12	18	14	59
女	2	5	2	4	13
合計	17	17	20	18	72

<放課後等デイサービス>

年齢	1年生	2年生	3年生	合計
男	11	8	7	26
女	1	2	2	5
合計	12	10	9	31

<保育所等訪問支援>

年齢	保育園	幼稚園	1～3年	4～6年	合計
男	3	1	4	2	10
女	1	0	0	0	1
合計	4	1	4	2	11

Ⅲ 事業の実施状況

1 医療部

(1) 医療課（メンタルヘルス室）

①相談業務

<月別職員メンタル相談数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	9	11	8	1	1	6	4	10	12	8	3	4	77
新規利用者数	5	3	2	0	0	0	2	4	3	1	1	0	21

※月平均利用者数 6.4人 月平均新規利用者数 1.8人

<メンタルヘルス相談延べ人数推移>

	H27	H28	H29	H30
利用者数	79	38	92	77
新規利用者数	24	25	40	21

- ・新規採用者面談 計36名 (H30年6月25日～7月11日)
- ・青葉園管理職個別面談 計9名 (H30年10月3日～10月18日)
- ・青葉園中途採用者個別面談 計5名 (H30年11月10日～11月17日)

②研修会

<法人内>

- ・メンタルヘルス講習会 新人研修 オリエンテーション
- ・若木園職長研修会
- ・青葉園管理者研修会
- ・メンタルヘルス講習会 新人研修 「働き方研修」

<外部委託>

- ・佐賀県保育協会 配慮を必要とするこどもの保育研修会「保育者のストレス」
- ・佐賀県身体障害児者施設協議会「アンガーマネジメントと利用者への言葉づかいについて」

(2) どんぐりセンター若楠

- ・年々利用者数は増加してきている。週2～3回来られる方が中心だが、ほぼ毎日来られる方もおられた。
- ・季節行事などは特に参加者が多かった。
- ・赤ちゃんひろばやタッチケア教室はリピーターが増加した。
- ・利用者のほとんどが鳥栖市内及び基山町の方で、半数は弥生が丘在住の方である。少数ではあるが県外（小郡市や筑紫野市など）からも来られている。

<月別利用状況> (延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	455	414	452	500	497	429	478	578	375	424	413	526	5,541
1日平均	23	19	21	23	24	23	23	26	19	21	21	25	22

2 地域支援部

(1) 若楠児童発達支援センター

- ・就学前の児童の療育希望は増加傾向にある。
- ・感染症の流行期には、利用児の罹患の他、利用児は健康でも家族罹患の為の欠席があり、利用が減少した。
- ・職員の専門技術を高める為、事例検討や学習会などを実施した。
- ・就学に関する学習会、あそびの勉強会を実施した。

①児童発達支援

- ・利用希望者を積極的に受け入れた。
- ・親子療育クラス・小集団クラスでは、都合による欠席や祝日による休業日を同じ週の別日に振り替え可能としたことで、療育への参加率が上がった。
- ・集団クラスの療育参観を実施し、自由遊び時のビデオ視聴と支援の目的の説明、療育体験と親子遊びに参加していただいた。

<利用者数推移>

	利用契約者	実施日数	利用者延べ人数	1日平均利用者数
29年度	58	242	3,874	16.0
30年度	72	243	4,714	19.4

②放課後等デイサービス

- ・長期休暇中の預かり療育を実施していないため、31年度に向け新規の受け入れを調整した。

<利用者数推移>

	利用契約者	実施日数	利用者延べ人数	1日平均利用者数
29年度	34	240	2,615	10.9
30年度	31	239	1,835	7.7

③保育所等訪問支援

- ・予め、通所児童の欠席予定が入っている日等に訪問を調整して実施した。新規受け入れも行った。

<利用者数推移>

	利用契約者	実施日数	利用者延べ人数	1日平均利用者数
29年度	8	40	49	1.2
30年度	11	70	79	1.1

若木園

I 運営概要

1 運営方針

法人の理念を踏まえ、地域に役立つ障害者支援施設を目指す。施設の役割を活かし地域の障害者福祉ニーズを実現する。

入園者・利用者の意向・人権を尊重し社会的自立と社会参加ができるよう真摯に励まし支援する。医療・介護ケアを必要とする入園者、重い行動障害や自閉症の入園者へのきめ細やかな配慮を行い安定した生活ができるよう支援する。

2 活動状況

今年度で開設22年目を迎え、管理棟及び本館の施設設備も老朽化が著しくなっている。必要に応じ営繕を行い、利用者の生活環境の整備と働きやすい職場環境づくりに努めた。

また、今年度は特に危機管理に重点を置き、危険・事故・災害・虐待・感染・衛生等を各委員会で検討をしてもらい、身近の事として意識してもらう工夫をした。特に職員衛生（メンタル）は近年問題化しているため、衛生委員会を中心にその理解と対策を職員周知につなげるため産業医の指導のもとに実施した。

II 利用者の状況

1 年齢別・性別

(施設入所)

平成31年3月31日現在(名)

性別\年齢	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	合計	平均年齢
男性	0	1	18.	12	5	1	4	41	43.8
女性	0	4	7	7	4	2	4	28	46.9
合計	0	5	25	19	9	3	8	69	45.7

※最少年齢24歳 ※最高年齢77歳

2 障害支援区分

(名)

性別\区分	3	4	5	6	合計	平均区分
男性	0	2	12	27	41	5.6
女性	0	1	6	21	28	5.7
合計	0	3	18	48	69	5.7

III 事業の実施状況

1 入所支援・生活介護

(1) 高齢化、重度化にともなう運動機能の課題に対し、専門機関から評価を受け、利用者の生活支援の見直しを継続。

(2) 毎日が楽しい・生きがい・やりがいを感じられる支援を目指し、個別支援計画を作成。利用者のストレングスに着目した計画の実施。

- (3) 体調の変化に対し、迅速な医療・家族・他施設との連携に着目した面談の継続。
- (4) ご家族に対し、利用者と家族が望む「生活の場」の意向を尊重し、他施設との連携についての説明を継続。

2 通所生活介護

- (1) 重度化・複雑化するニーズに対し、丁寧な対応の統一を図った。
- (2) 他事業所との情報共有と将来の生活像を見据えた地域連携のため、担当者会議やケース会議へ出席した。
- (3) 利用者の特性を理解し、豊かな生活を目的とした支援に取り組み、事例研究発表等で報告した。

3 放課後等デイサービス

- (1) 年々高まるニーズに対し療育に特化した事業展開を継続できている。
- (2) 障害種別ごとの研修へ参加し、専門知識・技術の向上を図った。
- (3) 他事業所、学校と連携し、会議を設けながら総合的な児童への成長発達支援に努めた。

IV 保健衛生

1 健康管理

- (1) 疾病の早期発見及び健康保持増進の為、年2回の健康診断を実施。なお、異常のある方へは、適宜二次検査、治療を実施。
- (2) 各分野の職員との連携にて体調異常の早期発見・早期治療・早期回復に努めた。
- (3) 嘱託医や外来看護師の協力を得て、症状に応じた医療対応を行い、健康管理に努めた。
- (4) 地域の医療機関との連携強化を図り、緊急時や専門医療の受診対応を図った。
- (5) 専門医療については、定期的な専門医の診察を受け、治療を行った。
- (6) 感染症の流行期をはじめ、日々の生活環境の清掃、手洗い、手指消毒等を適切に実施し、施設内感染の防止に努めた。また、感染予防委員会(定期・臨時)を開催し、適宜予防対策の検討を行った。
- (7) 入園者(保護者承諾のもと)、職員は感染や重症化防止の為、インフルエンザ予防接種を実施。また、施設内感染拡大防止の為にリレンザ吸入や出勤ルールマニュアルを作成して対応した。
- (8) 食事・運動療法については体重管理を行い、嘱託医の指示のもとで管理栄養士、支援員との連携で適切な支援を行った。
- (9) 各医療機関への通院者、入院者に対し、担当医師との情報交換を密にし、必要な処置を行い治療に努めた。
- (10) 保健衛生日誌への記録活用により、当日の健康状態など医務の情報共有と支援の連携を図った。
- (11) 保護者への健康管理情報の提供や健康相談を適宜実施することで、信頼関係を築くことに努めた。

2 健康診断等の実施状況（若楠療育園）

実施期間	内 容	実施者数
H30. 5. 10～ 5. 31	健康診断（血液・尿・胸写・心電図・他計測等）	71 名
H30. 10. 23	健康診断（聴打診・血圧・体重・一部採血）	71 名

3 入園者の疾病状況（若楠療育園）（延べ人数：名）

科	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
精神科	72	71	71	71	73	70	75	71	70	69	70	72	855
内 科	17	10	9	22	15	18	23	13	24	44	33	25	253
歯 科	27	26	43	32	38	28	33	30	34	22	26	27	366
皮膚科	4		5	10	2	7	5	15	8	4	2	3	65
整形外科	1	1	3	2						2		2	11
リハビリ					1	1						1	3
合計	121	108	131	137	129	124	136	129	136	141	131	130	1553

4 入園者の協力医療機関受診状況（延べ人数：名）

医療機関名	受診状況	医療機関名	受診状況
鹿毛病院	47	原三信病院	6
岩岡整形外科	17	久留米大学病院	11
おか眼科	8	聖マリア病院	2
本間病院	8	肥前医療センター	5
ごんどう皮膚科	8	荒木眼科	2
駒井皮膚科	15	光風園病院	13
せとじまクリニック	2	今村病院	1
		野伏間クリニック	1

5 入園者の入院状況

病院名	疾患名	期間
久留米大学病院	左乳癌	平成 30 年 5 月 18 日～30 年 6 月 1 日
鹿毛病院	大腸癌	平成 30 年 6 月 25 日～30 年 7 月 11 日
本間病院	周期性気分変調症	平成 30 年 7 月 5 日～30 年 9 月 19 日

6 保健の実施状況

実施事項	回数	対象	実施事項	回数	対象
検温	1 日 2 回	全員	皮膚科受診	週 1 回	異常者
体重測定	月 1 回	全員	歯科受診	週 3 回	全員
	異常者随時		歯科受診	随時受診	異常者
血圧測定	年 6 回	全員	整形外科受診	週 1 回	異常者
	異常者随時		療育園以外の 医療機関受診	随時受診	異常者
身長測定	年 1 回	全員			

7 感染症罹患状況報告

感染症	期間	罹患者数
インフルエンザA	平成 31 年 1 月 17 日～2 月 6 日	計 2 名

V 食事班

1 実施状況

食事については、利用者個々のアセスメント表に基づき、栄養バランスのとれた献立を作成。多くの食材を使用し、見た目にも鮮やかに工夫した調理を行った。また、適切な時間に提供することができた。

栄養ケアマネジメントにより、看護師・支援員との連携を密にして、一人ひとりの栄養状態の把握はもとより、病態に合わせた食事や運動の取入れを実施することができた。

2 食事利用状況

月 食	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期
朝食	1,937	27	1,997	43	1,932	39	1,991	41	1,919	42	1,932	44	1,955	34
昼食	1,902	358	1,960	398	1,922	392	1,980	478	1,881	419	1,888	423	1,938	443
夕食	1,935	27	1,981	45	1,906	45	2,001	39	1,899	45	1,909	51	1,950	38
小計	5,774	412	5,938	486	5,760	476	5,972	558	5,699	506	5,729	518	5,843	515
合計	6,186		6,424		6,236		6,530		6,205		6,247		6,358	

月 食	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期入所
朝食	1,919	45	1,940	38	1,851	41	1,748	34	1,918	39	23,036	467
昼食	1,864	434	1,857	431	1,850	377	1,727	376	1,907	434	22,676	4,963
夕食	1,903	47	1,891	43	1,870	47	1,738	37	1,891	42	22,874	506
小計	5,683	526	5,688	512	5,571	465	5,213	447	5,716	515	68,586	5,936
合計	6,209		6,200		6,036		5,660		6,231		74,522	

常食入園者	51 名
きざみ食入園者	6 名
粗刻み食入園者	10 名
腎臓病食（減塩食）	1 名
腎臓病食（減塩・低蛋白食）	1 名
合計	69 名

VI 地域支援

1 生活介護事業利用実績（通所）

(1) 年齢 (名)

性別 \ 年齢	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	合計	平均年齢
男性	0	11	5	3	0	0	0	19	30.6
女性	0	8	2	0	1	0	0	11	30.1
合計	0	19	7	3	1	0	0	30	30.5

※最少年齢 21 歳 ※最高年齢 54 歳

(2) 障害支援区分 (名)

性別 \ 区分	3	4	5	6	合計	平均
男性	0	3	8	10	21	5.2
女性	0	3	3	5	11	5.1

(3) 利用者数 (延べ人数：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	351	376	358	350	342	388	392	349	314	319	302	330

合計 4,121 名 (前年度比 -276 名)

2 放課後デイサービス事業実績

(1) 年齢 (名)

性別 \ 年齢	小学生	中学生	高校生	合計	平均年齢
男性	19	4	2	25	11.8
女性	2	1	4	7	14.2
合計	21	5	6	32	13

(2) 利用者数 (延べ人数：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	85	114	110	107	88	0	0	0	0	0	0	0

※9月より職員体制不足により一時休業

合計 504 名 (前年度比 -873 名)

3 短期入所事業実績

(1) 年齢 (名)

就学前	小学生	中学生	高校生	18～20歳	21～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
男性 0	1	1	4	4	13	6	2	0	31
女性 0	0	2	3	2	6	3	0	0	16

(2) 障害支援区分 (名)

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	1	1	3	7	9	21
女性	0	0	0	3	4	7	14
男児	0	1	2				3
女児	0	2	0				2

(3) 利用者数 (延べ人数：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用	53	84	83	75	87	78	69	82	64	64	58	72	869

(前年度比 +24 名)

4 日中一時支援事業実績

(1) 年齢 (名)

就学前	小学生	中学生	高校生	18～20歳	21～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
男性 0	5	1	1	2	5	1	0	0	15
女性 0	0	1	0	1	5	1	0	0	8

(2) 利用者数 (延べ人数：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用	15	24	25	16	21	19	25	15	22	17	17	17	233

(前年度比 -65名)

※適切かつ丁寧な対応を要する重度障害児・者の利用受け入れ数増加に伴い、総合的な利用数は減少となった。職員支援体制が整わず休業を余儀なくされることもあった。

VII 地域社会と交流

1 実習生 (名)

実習の種類	実習校	期間	人数
高等部現場実習	大和特別支援学校	平成30年6月4日～6月8日	1名
高等部現場実習	小郡特別支援学校	平成30年11月5日～11月9日	1名
中学部現場実習	中原特別支援学校	平成30年12月3日	1名
看護実習	精華女子高等学校	平成30年8月6日	11名
介護福祉士	西九州大短期大学	平成30年8月20日～8月24日	1名
保育実習	香蘭女子短期大学	平成30年10月16日	12名

2 ボランティア

氏名	内容	氏名	内容
牟田淑子 様	茶道教室	平田 彰 様	ドッグセラピー
山浦消防団 様	消防訓練・行事手伝い	コールトリンズ 様	コーラス
稲員千鶴子 様	詩吟	ひだまりの会 様	読み聞かせ

3 交流活動

- ・若木祭
- ・山浦地区敬老会
- ・麓地区夏祭り
- ・地域音楽教室
- ・鳥栖市障害者理解促進事業
- ・麓地区文化祭
- ・弥生が丘文化祭

VIII 総務

1 職員状況 (名)

	施設長	児童発達支援責任者 サービス管理責任者	生活支援員	保育士	児童指導員	看護師	管理栄養士	調理師(員)	事務員	環境整備員	その他	合計
29年度	1	4	50	2	1	3	1	10	3	2	2	79
30年度	1	3	53	2	0	2	1	8	3	2	2	74

※臨時・短時間職員を含む。※生活支援員には、介護福祉士・社会福祉士等資格保有者を含む。

2 職員研修

(1) 内部研修

月	研修等名	内容	開催地	参加者
4	法人職員研修	新採研修	若楠療育園プレイホール	矢野、秋山、大塚、矢永、山口、濱崎、北野
	法人職員研修	1年経過者研修	若楠療育園プレイホール	島添、佐々木
	園内研修	新採研修 (OJT)	若木園	矢野、秋山、大塚、矢永、山口、濱崎、北野
5	法人職員研修	1年経過者研修	若楠療育園プレイホール	中村マ
	法人職員研修	新採研修	どんぐり村	矢野、秋山、大塚、矢永、山口、濱崎、北野
	園内研修	新採研修 (OJT)	若木園	上記新採職員
6	法人職員研修	コミュニケーション研修	若楠療育園プレイホール	片渕
	法人職員研修	年金について	若楠療育園プレイホール	岩永、篠原
7	法人職員研修	主任等研修会	マリーゴールド	田中、奥村、生野、野下サ
	園内研修	新採職員 (OJT)	若木園	矢野、秋山、大塚、矢永、山口、濱崎、北野
9	法人職員研修	課長等研修	マリーゴールド	中村リ、別府、野下タ
	法人職員研修	働き方研修	若楠療育園プレイホール	矢野、山口、濱崎、岩永
10	法人職員研修	働き方研修	若楠療育園プレイホール	天本、秋山、大塚、矢永、北野
11	法人職員研修	中間業績報告会	若楠療育園プレイホール	片渕、中村リ、別府
2	法人職員研修	就労支援フォーラム	若楠療育園プレイホール	片渕
	園内研修	事例研究発表会	若木園	支援員
3	法人職員研修	事業計画説明会	マリーゴールド	片渕、中村リ、野下タ

(2) 外部研修

月	研 修 名	会 場	参加者
4	佐賀県知的障害者福祉協会総会	佐賀市	片渕
	佐賀県知的障害者福祉協会実行委員会	佐賀市	別府
5	協和商工(株)病院、施設向け展示会	佐賀市	河上
	ミュージックケア研修	田川市	中村まり
	木曜アフター講座①	佐賀市	大塚
	強度行動障害支援者養成研修運営委員会	佐賀市	中村リ
	九州地区知的障害者施設親善球技大会実行委員会	佐賀市	坂口
6	協和決算展示即売会	神埼市	河上
	ミュージックケア研修	田川市	中村まり
	木曜アフター講座②	佐賀市	大塚
	スタッフトレーニング研修	佐賀市	亀山
7	全国知的障害関係施設長等会議	東京都	片渕
	施設長会	佐賀市	片渕

	佐賀県相談支援従事者初任者研修	佐賀市	奥村
	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	佐賀市	島添、荒木、中村まり
	九州地区知的障害関係施設職員研修大会	熊本市	別府、橋口
8	木曜アフター講座③	佐賀市	大塚
9	協和、秋の総合展示会	佐賀市	河上
	児童発達支援研修	佐賀市	村上
	指導部会研修会	佐賀市	片渕、野下た
	九州地区知的障害者施設親善球技大会実行委員会	佐賀市	坂口、三島、別府
10	食品衛生責任者実務講習会	鳥栖市	河上、松本
	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	中村まり
	給食部会研修会	佐賀市	片渕、河上
11	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	中村まり
	事業場内メンタルヘルス推進担当者養成研修	福岡市	中村り
	指導者のためのビジョントレーニング勉強会	福岡市	村上
	佐賀県障害者虐待防止・権利擁護研修	佐賀市	片渕
	社会福祉協議会、会計実務講座	神奈川県	野下さ
	九州地区知的障害関係施設長等研究大会	沖縄県	片渕、山鹿、古賀ゆ
	九州地区知的障害者施設親善球技大会	佐賀市	坂口、三島、別府
12	佐賀中部福祉事業所交換会	佐賀市	片渕
	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	中村まり
	施設長会	佐賀市	片渕
	佐賀県サービス管理責任者等研修	佐賀市	村上
1	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	中村まり
	あすなろう体験活動報告会	神埼市	別府
	佐賀県指定障害福祉サービス事業者等集団指導	佐賀市	中村り、別府
	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	佐賀市	米田、秋山、山口る
2	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	中村まり
	九州地区知的障害福祉協会種別部会・合同研修会	福岡市	島崎、立石
	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	佐賀市	米田、秋山、山口る
	強度行動障害支援者養成研修（実践）	佐賀市	古賀り、島崎、佐々木
3	健康増進の一部を改正する法律に関する説明会	鳥栖市	片渕

3 視察・見学等の受入れ

月	団 体 名
7 月	虹の原特別支援学校高等部対馬分教室
2 月	春日園

4 防災管理

毎月1回の防災訓練を様々な想定で実施している。

今年度も、初期消火に力を入れての取り組みを行った。一斉メールでの緊急連絡方法も確立が出来ており地域・地元消防団との合同の防災訓練も実施する。

防火管理委員会（年4回）では、火災対策の他に自然災害等のリスクに備え意見交換や園内での対策方法の協議を行っている。

平成30年度は、東館二階（女子棟）の避難訓練を重視し、消火手順、避難経路、応援体制の確認を行った。

5 施設整備及び環境の整備状況

（1）施設整備

- ・東館外壁清掃
- ・本館男・女浴室壁のカビ取及び塗装
- ・本館男・女浴室換気扇取替
- ・本館男子棟扉取付け（2か所）
- ・本館玄関前タイル補修
- ・本館男子棟ホールトイレ扉取り替え
- ・本館エアコン室外機コンプレッサー取り替え（3台）
- ・本館事務室扉取り換え
- ・東館下水チャッキ弁取替（2台）
- ・ファミリー館タイルカーペット
- ・厨房排気ファン整備

（2）備品等整備

- ・車両 トヨタプロボックス（日産ADバンを入替）
- ・本館女子棟及び園長ノートパソコン更新
- ・厨房コンベクションオープン入替
- ・厨房ガステーブルおよびガス回転釜入替

6 寄付

ご 芳 名
若木園保護者会 様
佐賀県共同募金会 様
中野昭三 様
吉田 忠 様

青葉園

I 運営概要

若楠の基本理念のもと、青葉園、青葉ホームともに利用者、家族、地域から信頼される事業活動に取り組んだ。

青葉園ではユニットケアを実施し、家庭的な雰囲気のもときめ細やかな支援を心がけた。また、職種間が連携を図ることで、利用者の生活支援、医療・介護ケアの充実に努めた。

青葉ホームは利用者が地域で安心、安全な生活を送っていただけるように、生活支援、事業所及び相談支援事業所との連携、交通事故、防犯に対する個別支援に取り組んだ。

II 利用者の状況（入所）

1 年齢 平成31年3月31日現在（名）

年齢	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	合計	平均年齢
男	0	1	11	23	11	17	18	81	54 歳
女	0	0	7	8	6	17	12	50	57 歳

※施設入所：日中グリーンファーム利用者8名含む。

2 障害支援区分 （名）

区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	4	18	30	29	81
女	0	0	3	10	12	25	50

※施設入所：日中グリーンファーム利用者8名含む。

III 事業の実施状況

青葉園

1 生産型

（1）クリーニング班

グリーンファーム山浦からの業務受託

（2）業務受託班

若楠療育園の清掃、利用者の車椅子清掃

若楠療育園のおしぼり洗濯

（3）陶磁器

陶芸教室・絵付け教室の開催

（4）くすの樹

授産品販売を行い、地域交流や法人内施設の情報発信

（5）軽作業

袋に持ち手をつける内職、アルミ缶リサイクル、箱作り

2 活動型

（1）散歩、体操、ドライブ、誕生会、目的別外出等

（2）アートクラブ、ダンスクラブ

（3）個別活動

(4) 1日旅行

3 全体行事

(1) 夏祭り(7月)、若楠感謝祭(11月)、クリスマス会(12月)

4 青葉ホーム

(1) 利用者の1泊旅行

(2) 弥生が丘東区の美化活動(年2回)、イベントへの参加

(3) 青葉ホーム山浦は班長会へ参加、地区の行事に参加

(4) 環境整備として年2回、各ホームの除草作業等を行う

(5) ボランティアによるリラックス体操(月2回)

5 地域交流

(1) 「第24回 若楠感謝祭」を開催

(2) 弥生が丘夏祭りへの参加

(3) 弥生が丘運動会への参加

(4) 弥生が丘東区除草作業への参加(春・秋、年2回)

(5) 弥生が丘まちづくり推進協議会への協力

IV 生産型活動における生産品等、販売実績

1 販売実績

(円)

	クリーニング	業務受託	軽作業(陶芸)	くすの樹	合計
売上	4,000,000	9,262,653	836,385	3,553,219	17,652,257

2 就労工賃の支給

(円)

	年間支給額	年間平均額	年間最高額	年間最低額
生産型	3,363,907	134,556	362,169	44,589
活動型	1,313,149	32,028	75,970	1,637

V 保健衛生班

1 健康管理

(1) 健康保持のため、年2回の健康診断を実施し、健康診断の結果は家族に報告するとともに、必要な検査については家族と相談し対応した。

(2) 慢性疾患、痙攣のある利用者に対し嘱託医と連携を密にし、定期受診、状態観察に努め報告と適切な対応、処置をおこなった。

(3) 医療機関への通院者、入院者に対し担当医師と情報交換を密にし、必要な処置を行い

治療に努めた。定期受診者、異常者受診時の投薬、処置を医務室にて実施。

- (4) インフルエンザ予防対策は保護者・利用者・職員の説明と了解を得て、予防接種を実施。
- (5) 感染予防対策として健康状態の把握と共に、清潔、換気に留意し、作業棟、就寝時のうがいの励行を実施。手指の清潔保持のため、手洗いの励行を行い、職員がアルコール消毒液を携帯し使用した。ノロウイルス・インフルエンザ等感染対策マニュアルの作成を行い、職員への情報提供に努めた。感染時には隔離を行う等、初期の対応を迅速におこなった。
- (6) 高齢者、虚弱者の疾病の予防に努めると共に、成人病、肥満の予防及び対策として栄養課と協力体制をはかり、食事の工夫に努めた。

2 健康診断、予防接種の実施状況

実施月	内容
4 月、5 月、6 月	利用者健康診断
10 月、11 月	利用者健康診断
10 月、11 月	インフルエンザ [※] 予防接種

3 利用者の入院状況

医療機関名	期間
やよいがおか鹿毛病院	平成 30 年 3 月 31 日 ～ 平成 30 年 4 月 13 日
	平成 30 年 4 月 2 日 ～ 平成 30 年 4 月 6 日
	平成 30 年 4 月 23 日 ～ 平成 30 年 5 月 7 日
	平成 30 年 4 月 23 日 ～ 平成 30 年 5 月 9 日
	平成 30 年 7 月 4 日 ～ 平成 30 年 7 月 12 日
	平成 30 年 9 月 10 日 ～ 平成 30 年 9 月 14 日
	平成 30 年 10 月 22 日 ～ 平成 30 年 11 月 19 日
	平成 31 年 3 月 29 日 ～
聖マリア病院	平成 30 年 5 月 7 日 ～ 平成 30 年 5 月 26 日
	平成 30 年 8 月 1 日 ～ 平成 30 年 8 月 21 日
	平成 31 年 3 月 15 日 ～

4 利用者の受診状況 (件)

医療機関	受診数	医療機関	受診数
若楠療育園	2,042	肥前精神医療センター	26
若楠療育園歯科	1,259	いぬお病院	12
やよいがおか鹿毛院	180	大島病院	47
聖マリア病院	15	まえはら耳鼻科	6
ごんどう皮膚科	63	前山内科	3
岡眼科	195	くるめ病院	3
中州医院	26	黒岩耳鼻科	1
久留米大学病院	9	永田皮膚科	5
梅野耳鼻科	2	白水クリニック	1
		合 計	3,895

5 感染症状況

インフルエンザ	平成 31 年 1 月 1 日～平成 31 年 1 月 30 日	利用者 (12 名) 職員 (4 名)
---------	----------------------------------	---------------------

Ⅵ 栄養課

1 給食状況

- (1) 個人の身体状況や喫食状況を考慮し、グリーンファーム山浦やどんぐり村の新鮮な野菜等を積極的に使用した献立を作成し、かつ安心・安全な食事提供に努めた。
- (2) 温かい物は温かく、冷たい物は冷たくを心がけ、直前配膳等おこなった。
- (3) 体調不良や咀嚼不良の時は別メニュー、別形態にて個別対応もおこなった。
- (4) 季節毎の行事食を取り入れ、利用者の方々に楽しみにしていただいた。
- (5) 利用者の栄養ケア計画を作成、生活支援員・看護師と連携をおこなった。

2 食事利用状況

(食)

(食)														
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所
朝食	3,727	66	3,783	78	3,707	63	3,882	62	3,706	62	3,736	59	3,860	60
昼食	3,548	305	3,540	333	3,505	342	3,604	317	3,404	320	3,487	297	3,663	343
夕食	3,703	67	3,806	79	3,702	62	3,905	64	3,696	57	3,735	60	3,869	60
小計	10,978	438	11,129	490	10,914	467	11,391	443	10,806	439	10,958	416	11,392	463
合計	11,416		11,619		11,381		11,834		11,245		11,374		11,855	
	11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所		
朝食	3,712	59	3,785	59	3,674	51	3,470	55	3,825	61	44,867		735	
昼食	3,530	339	3,474	301	3,521	287	3,318	289	3,604	324	42,198		3,797	
夕食	3,698	60	3,738	58	3,741	52	3,478	55	3,830	62	44,901		736	
小計	10,940	458	10,997	418	10,936	390	10,266	399	11,259	447	131,966		5,268	
合計	11,398		11,415		11,326		10,665		11,706		137,234			

Ⅶ 総務課

1 職員状況

平成31年3月31日現在(名)

	園長	サービス管理責任者	事務員	生活支援員	看護師	管理栄養士	調理師等	世話人	夜勤専従(ホーム)	医師(嘱託)	合計
29年度	1	6	8 (1)	83 (21)	3	2	13 (4)	12	17	1	146 (26)
30年度	1	6	8 (2)	87 (22)	3	2	13 (5)	11	17	1	149 (29)
増 減	0	0	0 (1)	4 (1)	0	0	0 (1)	-1	0	0	3 (3)

※括弧内の数字は短時間勤務職員

※サービス管理責任者は、2名が共同生活援助(グループホーム)

※管理栄養士は、1名調理員兼務

2 職員研修

月	研 修 会 等 名 称	開催地	参 加 者
4	法人新採研修	若楠療育園	新採職員
	福祉従事者業務改善研修	佐賀市	宮崎
	福祉従事者新任職員研修	佐賀市	武田・山口・桑原・村上
5	福祉従事者新任職員研修	佐賀市	岡・下平
6	知的障がい者の高齢期支援研修	熊本市	本村・溝田

7	全国知的障害関係施設長等会議	東京都	前田
	福祉従事者会計基礎知識研修	佐賀市	西村
	佐賀県強度行動障害支援者養成研修連続講座①	佐賀市	川上・橋本・岡本
	防災研修	久留米市	片山・本村
	佐賀県相談支援従事者初任者研修	佐賀市	徳永・松本・富永
	福祉従事者ハラスメント予防研修	佐賀市	新貝
	クリーニング師研修会	佐賀市	大鶴
	倫理人権部会研修会	佐賀市	伊東
	てんかん基礎講座	大阪市	松本・山田・姉川
	九州地区知的障害関係施設職員研修大会	熊本市	中村・宮崎・増永・高島・長瀬
8	看護師・介護職が自動的に集まる採用方法	福岡市	前田・新貝
	事務長・管理者のための労務管理力養成講座	福岡市	新貝
	強度行動障がい支援者養成研修	佐賀市	大鶴
	佐賀県栄養士会福祉事業部研修会	佐賀市	天本（由）
9	佐賀県強度行動障害支援者養成研修連続講座②	佐賀市	川上・橋本・岡本
	佐賀県知的障害者福祉協会指導部会研修会	佐賀市	遠藤・林
	全国グループホーム等研修会	松山市	米田
	佐賀県社会就労センター協議会精神疾患に関する研修会	佐賀市	石田・山口
	佐賀県知的障害者福祉協会保健衛生部会研修会	佐賀市	長尾・最所・東島
	全国社会福祉法人経営者大会	長野市	前田
10	応用行動分析（ABA）連続講座①	佐賀市	川上・松田
	全国社会福祉法人経営者協議会広報発信力強化セミナー	福岡市	田中
11	九州社会就労センター（セルブ）研究大会	福岡市	小野・飯田
	佐賀県障害者虐待防止・権利擁護研修	佐賀市	牧
	応用行動分析（ABA）連続講座②	佐賀市	川上・松田
	社会福祉施設経営実務セミナー（会計編）	福岡市	新貝
	福祉サービス苦情解決研修会	佐賀市	富永
12	九知協地域支援部会会議	宮崎市	前田
	職場内コミュニケーション向上研修	佐賀市	渡邊・香月
	佐賀県知的障害者福祉協会施設長会	佐賀市	園長
	応用行動分析（ABA）連続講座③	佐賀市	川上・松田
1	全国社会福祉協議会障害者虐待防止リーダー職員研修会	東京都	執行
	指導的職員スキルアップ研修	佐賀市	徳永・溝田
	福祉従事者研修メンタルヘルス不調の早期発見と予防対策研修	佐賀市	牧
	記録を充実させるための記録の基本と体制及び環境整備	福岡市	山田・長瀬
	応用行動分析（ABA）連続講座④	佐賀市	川上・松田
	強度行動障害支援者養成研修	佐賀市	執行・本村・後藤・渡邊
2	働き方改革関連法施行直前対策セミナー	鳥栖市	新貝
	九州地区知的障害者福祉協会種別部会・合同研修会	福岡市	前田・徳永・吉岡・岡本
	軽減税率に関する研修会	佐賀市	新貝・宮崎・西村
	応用行動分析（ABA）連続講座⑤	佐賀市	川上・松田
	佐賀県サービス管理責任者等（介護）研修	佐賀市	徳永・富永
	佐賀県強度行動障害支援者養成研修実践研修	佐賀市	執行・本村・川上・後藤・橋本・岡本・渡邊

3 視察等の受入

(名)

月	内 容	人数	月	内 容	人数
7	中原特別支援学校高等部	19	10	小郡市大原校区民生委員児童委員協議会	8
8	中原特別支援学校小学部	20	11	鳥栖地区民生委員児童委員協議会	8
9	児童発達支援センターくれよん	13			

4 防災・防犯管理

青葉園

- (1) 定期的な防火避難訓練を実施（月 1 回）
- (2) 弥生が丘・今町・柚比町地区の方の参加のもと夜間防火訓練を実施（年 1 回）
- (3) 受付にて記名、名札を来園者につけていただく

青葉ホーム

- (1) 防火避難訓練を実施（年 4 回）
- (2) 鳥栖市役所と危険個所の現地確認と避難場所の確認

5 施設整備および環境の整備状況

- (1) 備品等の整備
無線 LAN アクセスポイント（15 か所） くすの樹カフェスペース

6 寄付・寄贈

ご 芳 名	
青葉園・グリーンファーム山浦・青葉ホーム の利用者を支える会「みつば」様	井上 美津子 様 中村 忠子 様
佐賀県共同募金会 様	篠原 英治 様
高取 静代 様	古庄 真 様

Ⅷ 障害福祉サービス事業及びその他社会福祉事業の実施状況

1 短期入所

(1) 利用者数・利用日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	2	3	2	2	3	2	2	2	2	1	1	2	24 名
延べ利用日数	9	23	35	37	35	32	34	35	35	28	28	33	364 日

2 日中一時支援

- (1) 利用者数・利用日数
本年度利用無し

3 青葉ホームの状況（青葉ホーム山浦・青葉ホーム弥生が丘Ⅰ・弥生が丘Ⅱ・弥生が丘Ⅲ）

(1) 障害支援区分 平成 31 年 3 月 31 日現在（名）

区分 場所	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
山浦	2	0	1	6	1	0	0	10
弥生が丘Ⅰ	0	0	2	1	7	0	0	10
弥生が丘Ⅱ	1	0	2	4	5	0	0	12
弥生が丘Ⅲ	3	0	1	5	3	1	0	13
合計	6	0	6	16	16	1	0	45

(2) 日中活動状況 平成 31 年 3 月 31 日現在（名）

種別 場所	生活介護 事業所利用	就労継続 B 型・就労 移行支援事業所利用	就労継続 A 型 事業所利用	一般就労	その他	合計
山浦	0	6	3	1	0	10
弥生が丘Ⅰ	1	5	1	3	0	10
弥生が丘Ⅱ	3	7	0	2	0	12
弥生が丘Ⅲ	4	7	1	1	0	13
合計	8	25	5	7	0	45

IX 地域社会との交流

1 特別支援学校等実習受入状況

(1) 小郡特別支援学校（高等部） (名)

期 間	人 数
平成30年 5月28日 ～ 6月15日	1
平成30年10月22日 ～ 11月 2日	1

(2) 中原特別支援学校（高等部） (名)

期 間	人 数
平成30年 6月12日 ～ 6月13日	1
平成30年 6月14日 ～ 6月15日	1
平成30年 6月18日 ～ 6月22日	1
平成30年11月 5日 ～ 11月22日	1
平成31年 2月 4日 ～ 2月15日	1

(3) 大和特別支援学校（高等部） (名)

期 間	人 数
平成30年11月 5日 ～ 11月 9日	1

(4) 筑後特別支援学校（高等部） (名)

期 間	人 数
平成30年11月 5日 ～ 11月22日	1

2 介護等実習の受入状況

(1) 九州医療専門学校 (名)

期 間	人 数
平成30年 4月 7日 ～ 平成30年 4月15日	1
平成30年 4月27日 ～ 平成30年 5月 5日	1

(2) 西九州大学 (名)

期 間	人 数
平成30年 8月13日 ～ 平成30年 8月13日	1
平成30年11月 3日 ～ 平成31年 2月10日	1

(3) 佐賀大学 (名)

期 間	人 数
平成30年10月 8日 ～ 平成30年10月12日	1
平成30年10月15日 ～ 平成30年10月19日	1

3 ボランティア活動状況

ボランティア名	内容	実施状況
今町消防団 様 佐賀銀行 様 九電工 様 西九州大学生 様	若楠感謝祭での販売、準備	年1回
平岡介護福祉専門学校 藤原 寿一 様 石本 千鶴子 様 西九州大学 堂打 様	夏祭りでの販売、演奏	年1回
古澤 和美 様 執行 チヨ子 様	リラックス体操	月2回
豊増 保夫 様	絵画クラブ	年12回
篠原 正子 様	クリーニング作業	週1回
古庄 真 様	利用者との食事会開催	年3回
大石 優花 様	軽作業	年4回
松隈 真由美 様	リズムダンス	年18回

もしもしネット

I 障害者就業・生活支援センター事業の実施

職業生活において自立を図るため、就業及びこれに伴う日常生活、または、社会生活上の支援を必要とする障害者に対して関係機関との連携を図りつつ、障害者及び事業主等に必要な助言や支援を行い、雇用の促進及び職業の安定を図った。

1 平成30年度障害者就業・生活支援センター事業実施状況

(1) 障害種別・就業状況別の支援対象障害者（登録者）数 (名)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
		うち重度		うち重度			
在職中	38	10	179	41	103	6	326
求職中	15	2	41	5	49	4	109
その他	0	0	13	0	1	0	14
合計	53	12	233	46	153	10	449
29 年度	88	19	289	61	233	16	626

※ケースを明確に把握するために台帳を整理（長期利用なし等）

(2) 支援対象障害者に対する相談・支援件数（手段別） (件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
センターへの来所（本人・ほか家族等含む）	24	113	29	4	170
電話・メール相談（本人・家族のほか関係機関等の電話も含む）	177	1,239	677	16	2,109
職場訪問（定着支援ほか、職場実習支援含む）	84	751	366	3	1,204
家庭・入所施設への訪問	5	77	22	1	105
その他（ハローワーク同行訪問、各種手続き、病院受診同行、ケース会議他）	56	138	140	11	345
合計	346	2,318	1,234	35	3,933
29年度	561	3,399	2,122	58	6,140

※集計ソフト内の集計方法が今年度より変更

(3) 事業所に対する相談・支援割合（内容別） (件)

雇入れに関する相談・支援	385
雇用する障害者の職場適応・職場実習に関する相談・支援	980
雇用する障害者の生活面に関する相談・支援	648
障害者の雇用支援制度に関する相談・支援	0
その他	30
合計	2,043
29年度	1,509

(4) 職場実習のあっせん件数 (件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
H30	1	26	11	0	38
H29	1	24	8	0	33

(5) 就職件数及び就労支援継続A型事業所への就職件数 (件)

<一般就労>

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
H30	5	31	22	0	58
H29	5	27	23	1	56

<就労継続支援A型>

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
H30	1	6	15	0	22
H29	3	6	21	0	30

(6) 職場定着率…1年経過時点 (%)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	平均
H30	90	97	58	0	86
H29	78	78	52	100	69

Ⅱ 研修等の受講

- 1 発達協会実践支援セミナー「愛着障害への理解を含む家族支援講座」7.29-30 (於：有明・小川)
- 2 障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修 8.7-10 (於：千葉・権藤)
- 3 第17回障害者カンファレンス 9.28 (於：久留米・小川)
- 4 発達協会実践支援セミナー「発達・知的障害のある子の保護者について学ぶ」10.20 (於：有明・杉原)
- 5 北九州エリア 就業支援実践研修 精神障害コース 11.9 (於：福岡市・権藤)
- 6 第26回職業リハビリテーション研究・実践発表会 11.8-9 (於：有明・小川)
- 7 発達障害者セミナー11.16 (於：佐賀・全員)
- 8 障害者就業・生活支援センター ブロック勉強会 11.29 (於：佐賀市・全員)
- 9 就労支援フォーラムNIPPON 12.8-9 (於：東京・権藤)
- 10 NHKフォーラム発達障害者の就業支援について 12.16 (於：佐賀・全員)
- 11 全国就労支援ネットワーク 全国フォーラム 2.1-2 (於：千葉・小川)
- 12 発達障害者就業支援センターSKY合同勉強会 1.26 (於：佐賀・全員)
- 13 自閉症協会 地域サポート自閉症スペクトラム講演会 3.16 (於：佐賀・小川)

Ⅲ その他

1 関係機関との連絡会議の開催

平成 30 年 6 月 26 日 サンメッセ鳥栖

参加機関：佐賀県就労支援室・ハローワーク鳥栖・東部地区 A 型 B 型
移行支援事業所・総合相談窓口（計 19 名）

議 題：東部地区「一般就労」の支援における現状報告と課題、意見交換

平成 30 年 12 月 21 日 サンメッセ鳥栖

参加機関：ハローワーク鳥栖・障害者就業支援センター・東部地区精神科 PSW・自立訓練施設・移行支援事業所（計 14 名）

議 題：就労と医療の連携について意見交換

- ・もしもしネット 年度事業報告
- ・「就労支援と精神科医療の情報交換マニュアルについて」 障害者職業センター 植松氏
- ・意見交換 他

2 在職者交流会の実施

- ・円滑な就業生活と職場定着を目的とし余暇活動の一環とした交流会の開催（年 4 回）
- ・携帯電話のルールとマナー・ラインのやり取りについて 7 月 1 日（於：久留米市 35 名）
- ・精神障害者のためのピア cafe 9 月 21 日（於：鳥栖市 6 名）
- ・自立を見据えた生活指導フードコーディネーターによる栄養講話 調理実習
12 月 2 日（於：弥生が丘まちづくりセンター 35 名）
- ・仕事における職場のマナーやストレスや対処方法についてグループワーク
3 月 24 日（於：どんぐり村 34 名）

Ⅳ 総括

30 年度は 1 名欠員が続く中、新規登録 54 名、就職支援のべ 58 名、退職等対応のべ 47 名の他、普通学校、生活困窮者、触法支援、家族・生活支援等限られたマンパワーの中で可能な限り対応できた。職場定着率において昨年度平均 69%に対し、今年度 86%と飛躍できた要因として、アセスメントを関係機関と連携を図り十分に努め職業マッチングに重きを置いたことや、「対象者との関係性を丁寧に保つ」という目標を掲げ常に意識しながら業務に従事したことが結果に繋がったと考えられる。また昨年度同様、今年度も支援学校等の卒業生において一年以内の退職者が一人も出なかったことは、本人や事業所はもとより学校等や関係機関、そして何より保護者やグループホーム等（生活面）との関係構築を意識ながら丁寧に対応した事も大きな要因であると考えられる。全体の数字に関しては集計方法変更により減少したかのように見えるが、事業所への対応において昨年度 137 箇所から 151 箇所へ増加し、支援件数では昨年度 1,153 件から今年度は 1,509 件と大幅な増加となり、いかに障害者雇用の定着支援に関してのニーズがあるかが伺えた。また来年度は官公庁の支援も確実に増加すると予想されるため、更にタイトな状況が予想される。職員のメンタルヘルスや働き方改革も意識しながら、常に「スキルアップを図る」ことでスムーズかつ質の良い支援を行い、それを効率に繋げていくという工夫が必要であると感じた。来年度も法人の看板と共に地域支援を担う一端として丁寧かつ信用ある支援を心掛けたい。

どんぐり村

I 運営概要

平成30年度は、搾乳、ミルクプラントなど園内事業の整理を図り、就労支援会計の適正化に努めた。売上収入は減ったが、人件費、経費等支出も減ったため、バランスの取れた経営ができるようになった。

観光事業の整理により、新たに花苗・農園事業の拡大を図り、少しずつではあるが地域に根差した活動を行えるようになってきている。また、地域との関わりが増えたことにより、利用者の就労に対する意欲向上にもつながってきた。

II 利用者の状況

1 年齢分布図 (名)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～以上	合計
男	0	7	8	4	3	3	5	1	5	36
女	0	3	9	4	1	1	0	1	5	24
計	0	10	17	8	4	4	5	2	10	60

※最年少者 20 歳 最年長者 67 歳 男性平均 36 歳 女性平均 35 歳 総平均 35.5 歳

2 事業別利用契約者数

就労継続支援事業B型 60 名（男性 36 名、女性 24 名）

3 市町村別利用者数（受給者証発行市町村） (名)

	佐賀市	鳥栖市	神埼市	みやき町	小城市	多久市	白石町	吉野ヶ里町	合計
男	21	2	7	2	1	2	1	0	36
女	12	0	3	2	2	5	0	0	24
計	33	2	10	4	3	7	1	0	60

4 手帳の所有状況（療育・身体障害者・精神保健福祉手帳） (名)

	男	女	合計
療育手帳	34	23	57
身体障害者手帳	1	1	2
精神保健福祉手帳	3	2	5
合 計	38	26	64

※複数所有者含む

III 事業の実施状況

1 就労継続支援事業B型（定員 40 名）

（1）サービス部門（物販、パン工房、体験工房、飲食サービス）

接客を中心とした部門であるため、挨拶、身だしなみをしつかりと行いながら、お客様への対応ができるように支援を行った。利用者の接客技術が向上してきているため、レジや直接的な対応をお願いする場面も多くなっている。

パン製造、飲食サービスについては、効率化を図りながら、お客様へのサービスが落ちないように、質の向上に努めた。

（2）牧場部門（農園芸、環境整備、動物飼育）

農園芸班については、佐賀市の緑化推進事業（花苗配布事業）を実施し、予定の6万

本を納めることができた。また、新たに、ほうれん草の生産性アップを目指した取り組みを行い、次年度以降につながる事業展開を図った。動物飼育班については、乗馬、動物とのふれあいを通して、動物への理解、命の大切さを伝える活動を行った。

(3) 福祉部門（施設外就労、軽作業班）

施設外就労として、ヨコオ醸木工場の清掃作業、J A 富士のほうれん草調整作業、県立佐賀城公園の除草作業など地域に根差した活動を行い、利用者の作業内容も幅が広がり、更なる意欲向上につながった。軽作業班では、園内の装飾品、遊具の製作などどんぐり村の雰囲気づくりに貢献できるような活動を行った。

(4) 地域社会とのつながり

三瀬村老人会や佐賀市花ボランティアとの花苗定植活動、コンサートホールを使用した佐賀北高校吹奏楽部演奏会、第3回三瀬高原音楽祭、第2回さがふれあい芸術祭などを実施し、地域に根差した活動を行うとともに、社会資源として様々な団体に活用していただくことができた。

(5) 行事等の開催

利用者の交流会や風船バレー大会への参加、日帰り旅行（長崎グラバー園）などを実施し、作業への意欲作り、余暇活動の充実、利用者の仲間意識の構築に努めた。

2 就労支援部門実績

(1) 入場者数実績

(名)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
12,918	14,500	5,794	2,764	5,440	8,141	14,672
11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	
13,615	2,201	2,641	2,968	5,835	91,489	

(2) 売上実績

(千円)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
17,467	21,841	8,719	7,246	9,660	12,488	17,696
11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	
16,185	6,583	4,091	4,271	7,914	134,161	

3 平成30年度工賃支給実績

就労継続支援B型					
月	支給人数（人）	支給額（円）	月	支給人数（人）	支給額（円）
4	55	1,207,000	10	52	1,224,800
5	55	1,245,600	11	53	1,221,800
6	54	1,218,800	12	53	1,238,800
7	53	1,145,800	1	52	1,157,800
8	52	1,217,600	2	51	1,093,400
9	51	1,127,000	3	51	1,209,400
合計支給人数（人）		632	合計支給額（円）		14,307,800

※就労継続B型支援事業 平均工賃 22,639 円

VI 地域社会との交流

1 実習

福祉人材の育成のための実習を積極的に受け入れ、地域の就労支援事業所としての側面を理解してもらえるように努めた。また、特別支援学校の職場体験実習は、今年度も継続して行い、どんぐり村の利用につながる実習受け入れとなった。

(1) 特別支援学校職場体験実習

期 間	作業部門	人 数
大和特別支援学校（高等部） 5月28日～ 6月 8日	全部署	2名
大和特別支援学校（中等部） 9月18日～ 9月21日	全部署	3名
大和特別支援学校（高等部） 10月29日～11月16日	全部署	4名
大和特別支援学校（高等部） 11月 5日～11月16日	全部署	2名

(2) その他

期 間	作業部門	人 数
神埼清明高校 7月 4日～7月 6日	動物	1名
佐賀県新規採用職員研修 8月 1日～8月 2日	動物・パン他	2名
佐賀女子短期大学介護体験 8月20日～8月24日	軽作業・パン他	1名
大和中学校 10月16日～10月19日	動物・パン他	6名
佐賀農業高校 10月16日～10月19日	農園・環境	1名
佐賀ライトハウス（事業所間相互実習） 10月18日	事務所	1名
佐賀県教育センターしいの木 11月19日～11月20日	動物・パン	3名
高志館高校 12月11日～12月14日	農園・動物	2名

2 地域交流

佐賀県の福祉、観光、産業の中心として、地域との交流も積極的に行った。どんぐり村を社会資源として活用して頂けるように、地域活動の拠点作りを担えるような取り組みを行った。

期 間	会 場
佐賀北高校吹奏楽部演奏会 5月 6日	森のコンサートホール
致遠館中学校農業体験受入れ 6月 3日	農園・動物
三瀬公民館花壇植え替え 6月27日	三瀬公民館
第3回三瀬高原音楽祭 10月 6日～10月 8日	森のコンサートホール
第2回ふれあい芸術祭 10月13日	森のコンサートホール
田舎と都市のふれあい祭り（三瀬村） 10月27日～10月28日	三瀬小学校
若楠感謝祭 11月23日	弥生が丘八ツ並公園
きらめきフェスタ 11月25日	鍋島中学校

V 総務

1 職員状況 (名)

	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	目標工賃達成指導員	職業指導員	事務員	合計
30年度	1	1	1	1	20	3	27
29年度	1	1	1	1	23	4	31

2 職員研修

研修名	場所	期日	参加者
法人新採研修	若楠療育園	4月2日～4月4日	森本翔
法人一年経過者研修	若楠療育園	4月27日	原口
家畜商講習会	山口市	6月26日～6月27日	小笹
会計基礎知識研修	佐賀市	7月3日	森本
法人主任等研修	鳥栖市	7月13日	貞包・黒木
法人課長等研修	鳥栖市	9月3日	中村
精神疾患に関する研修会	佐賀市	9月13日	貞包
アフリカ豚コレラ研修	佐賀市	9月19日	小笹
法人働き方研修	若楠療育園	9月27日	森本翔
広報発信力強化セミナー	福岡市	10月29日	黒木
九州社会就労センター研修会	福岡市	11月1日～11月2日	浦・佐保
権利擁護と虐待防止研修	佐賀市	11月28日	森田
就労支援フォーラムNIPPON2018	東京都	12月8日～12月9日	中村
労務管理セミナー	佐賀市	1月22日	黒木
販売会事前研修セミナー	佐賀市	1月30日	中村
法人内就労支援研修	若楠療育園	2月12日	職員全員
社会セルフ協研修	大牟田市	2月13日	貞包・森本安

3 防災・安全管理

利用者の作業中の安全管理、来場者の安全管理、交通安全、防火管理、食品の衛生管理など多岐にわたる安全管理を徹底し、事故防止に努めることができた。また、老朽化している設備については、補修等を行い、建物、設備の安定化に努めた。

4 施設整備及び環境の整備状況

- | | |
|-----------------|----------------|
| ① ホテル凍結漏水災害復旧工事 | ② どんぐり村水災害土留工事 |
| ③ ホテル火災報知器改修工事 | ④ 高圧ケーブル更新工事 |
| ⑤ 地下タンク埋め戻し工事 | ⑥ 野菜ハウス増設工事 |
| ⑦ 花苗ハウス造成工事 | ⑧ 三菱2tダンプ購入 |

グリーンファーム山浦

I 運営の概要

若楠の基本理念である「入園者中心主義」「開かれた施設」「若楠ファミリー」を念頭に置き、利用者が楽しく働ける場、一般就労に向けて訓練を行う場を提供することができた。また、地域に密着した事業所として「梅まつり」、「ほんげんぎょう」、「子供体験教室」、「地域の美化活動」などの行事を行なうことで、地域の方々と交流ができた。

1 活動の状況

事業本来の役割（就労支援・工賃向上）を重視し、個々の能力を発揮できる支援を行うとともに明るく楽しい職場づくりに力を入れた。

- (1) 事業の確立と就労支援会計の安定を図った。
- (2) 行政、特別支援学校、もしもしネット、キャッチ等関係機関との連携を強化し、利用者の生活環境における様々な課題に取り組み、よりよい働く場としての支援を行った。
- (3) 新規事業「就労定着支援サービス」を開設、各関係機関ともより密に連携し、一般就労者及び在宅者に向けたサービスの案内を行い、利用者増員に努めた。
- (4) 感染症に対する危機管理の徹底と対策に取り組んだ。
- (5) 保護者との信頼関係を築き、交流を深めることができた。
- (6) 全体へ危機管理意識を促し、活動や作業中における事故防止に努め、顧客・取引先へ適切かつ迅速な対応を図った。
- (7) 食事提供で自主生産の食材をより多く取り入れ、定期的にお楽しみメニューや行事食を提供する等、満足度の向上を図った。
- (8) 各部署・各職員の連携及び体制の強化を図った。
- (9) 就労系の事業所として、どんぐり村との合同研修会を開き、工賃向上及び支援サービスに対する意識の向上を図った。

2 就労継続B型事業

専門機関と連携し、各部署職員の専門性及び生産活動にかかる知識や能力が向上した。支援の幅も広がり、利用者が主体となる作業内容をさらに充実させた。

また、生産品の安心・安全を追求しつつ作業効率及び生産性の向上を図った。販売販路の拡大にも積極的に努め、工賃向上に繋げることが出来た。

3 就労移行支援事業

従来の作業に加え一般就労に必要な基礎訓練（ピッキング・測量・選択・基礎マナー講座等）を行うことで、作業力・社会性の向上に努めた。また、企業見学・講習会・研修会を行うことで利用者の意識改革に繋げ、一般就労に向けた実習にも取り組むことができた。

4 就労定着支援事業

10月より新規に事業開設し、主に就労移行支援から一般就労した利用者に対し、定着に向けた支援サービスの充実を図った。家庭や企業と連絡調整を行いながら、訪問や面談を通して、利用者の就労に伴う生活上の課題解決に取り組んだ。

Ⅱ 利用者の状況

1 年齢別性別の状況

(1) 就労継続支援B型

(人)

年齢 性別	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	計	平均年齢
男 性	0	6	9	14	6	1	2	38	41歳10ヶ月
女 性	0	5	3	7	4	0	0	19	40歳1ヶ月
合 計	0	11	12	21	10	1	2	57	41歳1ヶ月

(2) 就労移行支援

(人)

年齢 性別	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	計	平均年齢
男 性	0	4	0	2	0	0	0	6	32歳1ヶ月
女 性	0	0	1	0	0	0	0	1	36歳1ヶ月
合 計	0	4	1	2	0	0	0	7	32歳6ヶ月

(3) 就労定着支援

(人)

年齢 性別	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	計	平均年齢
男 性	0	0	1	2	0	0	0	3	40歳7ヶ月
女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	—
合 計	0	0	1	2	0	0	0	3	40歳7ヶ月

2 障害別性別の状況

(1) 就労継続支援B型

(人)

種別 性別	療育手帳A	療育手帳B	精神保健福祉手帳2級	精神保健福祉手帳3級	身体障害者手帳	計
男 性	13	24	0	0	0	37
女 性	2	14	1	1	0	18
合 計	15	37	1	0	0	55

(2) 就労移行支援

(人)

種別 性別	療育手帳A	療育手帳B	精神保健福祉手帳2級	精神保健福祉手帳3級	身体障害者手帳	計
男 性	0	5	(1)	0	1 (1)	6
女 性	0	1	0	0	0	1
合 計	0	6	(1)	0	1 (1)	7

(3) 就労定着支援

(人)

種別 性別	療育手帳A	療育手帳B	精神保健福祉手帳2級	精神保健福祉手帳3級	身体障害者手帳	計
男 性	0	3	0	0	0	3
女 性	0	0	0	0	0	0
合 計	0	3	0	0	0	3

Ⅲ 事業の実施状況

1 農園芸班（作業科目）花苗栽培・花壇管理・鶏卵・野菜栽培・果樹栽培

園芸においては、市内公園やどんぐり村等と業務契約、花苗の育成から花壇管理まで行った。野菜栽培においては、(株)ヨコオと連携して昨年から取り組んでいる有機栽培を応用し品質の向上を図った。鶏卵事業は、生産の効率化を図り飼育環境の整備を行い、産卵率の増加に努めた。徹底した鮮度管理の中で、各方面の顧客に対して安定した供給及び満足度の向上を図れた。また、園内外でガーデニング教室等を開催し、地域交流を行うことができた。

2 菌床椎茸・業務受託（清掃）班（作業科目）菌床椎茸・鳥栖市内公園清掃・児童発達支援センター清掃

菌床椎茸部門では、関係機関と連携しつつ効率化を図り品質管理を強化し、年間を通して安定した収穫量及び収入に繋がった。

業務受託（清掃）部門では、地域の中で清掃作業を行うことで挨拶やマナー等の社会性が身に付き、就労に対する意識向上に繋がった。

3 食品加工班（作業科目）味噌・菓子製造販売

食品加工部門では味噌加工を中心に行い、衛生管理・品質管理を徹底し安定供給を図りながら、鳥栖市学校給食センター納品をはじめ、福祉事業所や保育園物販、一般顧客への販売を行った。

菓子部門に関しては、主に受注やイベント販売に対応して生産を行った。今後も生産体制が整備しながら、今後の新商品開発や販売促進に繋げていく。

4 クリーニング班（作業科目）法人内リネン関係・コカ・コーラ制服・行政機関等

今年度より青葉園より業務を移管し、利用者がより快適に活動できるよう休憩室や更衣室の整備を行った。また、井戸工事を行い経費削減にも取り組んだ。コカ・コーラ鳥栖工場や行政機関、各方面からの要望にも柔軟に対応し、受注量の増加及び収入増に繋がった。

5 主な年間契約先

作業班	主な作業内容	納品・作業場所	契約先
園芸班	花壇管理業務	八ツ並公園他 7 ヶ所	鳥栖市
園芸班	花壇管理業務	どんぐり村園内	どんぐり村
園芸班	花壇管理業務	環境課へ納品（200 ケース）	吉野ヶ里町
園芸班	花壇管理業務	筑紫野市カミーリア	筑紫野市
業務委託班	清掃業務	中央公園他 15 ヶ所	鳥栖市
業務委託班	清掃業務	若楠児童発達支援センター	若楠療育園
クリーニング班	制服・リネン	若楠療育園	若楠療育園
クリーニング班	制服・リネン	若木園	若木園
クリーニング班	作業服他	コカ・コーラ鳥栖工場	コカ・コーラ

6 平成 30 年度 作業班売上

作業班	売上額
園 芸	22,389,498 円
加 工	5,867,892 円
クリーニング	27,783,624 円
業務受託 菌床椎茸	6,955,367 円
業務受託 就労移行	4,837,608 円
共 通	688,176 円
合 計	68,522,165 円

7 就労移行支援事業 就職実績

トレーニングスタッフ	就 職 日	就 職 先
41 歳男性	平成 30 年 4 月 11 日	C X カーゴ
42 歳男性	平成 30 年 10 月 9 日	東洋空機製作所

8 平成 30 年度 工賃支給実績

就労移行支援			就労継続支援 B 型		
月	支給人数 (人)	支給額 (円)	月	支給人数 (人)	支給額 (円)
4	8	207,823	4	56	1,019,315
5	8	201,058	5	57	1,059,403
6	8	379,778	6	57	2,135,081
7	7	180,578	7	56	942,882
8	7	201,207	8	57	998,812
9	7	194,883	9	56	1,016,546
10	9	187,975	10	55	1,006,916
11	7	374,787	11	57	2,039,798
12	10	193,103	12	56	951,148
1	8	194,840	1	56	940,049
2	7	168,538	2	54	932,345
3	7	511,969	3	54	2,901,845
合計	93	2,996,539	合計	671	15,944,140

就 労 移 行 支 援 事 業 平均工賃 32,221 円

就労継続 B 型支援事業 平均工賃 23,762 円

合 計 平 均 工 賃 24,835 円

IV 地域社会との交流

1 実習

(1) 特別支援学校

学校名	期 間	実 習 生
中原特別支援学校	11 月 5 日～11 月 16 日	高等部 1 年生 男子 2 名
佐賀県立盲学校	11 月 26 日～12 月 7 日	高等部 2 年生 男子 1 名
中原特別支援学校	12 月 3 日～12 月 7 日	中学部 3 年生 男子 2 名

(2) その他

機関・団体名	期 間	実習内容・人数
精華女子高等学校	8 月 6 日	見学実習 11 名
中原特別支援学校	8 月 7 日	職員職場体験研修 1 名

2 ボランティア

名 称	主な活動内容	人 数
梅まつり	イベント対応・販売等	個人 15 名
作業ボランティア	園芸班及び椎茸班の作業	実人員 3 名

3 交流活動

(1) 梅まつり (2 月 24 日)

(2) ガーデニング教室 (各地区まちづくり推進センター・近隣小中学校等)

(3) ほんげんぎょう (1 月 5 日)

4 見学者

機関・団体名	期 日	人 数
諫早ワークス	9 月 27 日	20 名
エフコープ	2 月 1 日	30 名

V 総務

1 職員状況 (人)

	施設長	事務員	サービス管理責任者	厨房	就労移行職員			就労継続 B 型職員				合 計
				調理員	生活支援員	職業指導員	就労支援員	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員	就労定着支援員	
30 年度末	1	1	1	※4	1	※1	1	1	11 ※11	1	1	19 ※16
29 年度末	1	1	1	※4	1	※1	1	1	13 ※9	1	0	20 ※15

※は短時間職員

2 職員研修

(1) 園内研修

研 修 名	場 所	期 日	参加職員
どんぐり村・GF 山浦合同 就労支援フォーラム報告会	療育園プレイホール	2 月 12 日	全職員対象

(2) 外部研修

研 修 名	場 所	期 日	参加職員
協和商工展示会	協和商工(株)佐賀支店	6 月 14 日	馬場 昭江 中尾 真弓 高良 千春 猿渡 美咲
食品表示法に関する研修会	佐賀県社会福祉会館	6 月 27 日	渡辺 健
就労支援ネットワーク会議	サンメッセ鳥栖	6 月 29 日	塩月 佐智子 田口 揚児
会計基礎知識研修	佐賀市文化会館	7 月 3 日	中島 真美
ハラスメント予防研修	佐賀市文化会館	7 月 12 日	松尾 太敬
クリーニング師研修	メートプラザ佐賀	7 月 29 日	菱岡 幸雄 酒井 勉
がんばれ共和国	かんぽの宿阿蘇	8 月 17 日～19 日	田口 揚児
福祉職メイクアップ講座	グランデはがくれ	9 月 4 日	中村 ひとみ 中尾真弓
障がい者支援者カンファレンス	ホテルニュープラザ 久留米	9 月 28 日	西川 将史 鈴木 一也
安全運転管理者講習	サンメッセ鳥栖	11 月 1 日	松尾 太敬
九州セルフ研究大会	西鉄グランドホテル	11 月 1 日～2 日	高崎 知洋 酒井 勉
佐賀中部情報交換会	どんぐり村	1 月 27 日	高崎 知洋

			松尾 太敬 馬場 昭江 鈴木 一也
就労支援フォーラム NIPPON 2018	ベルサール新宿グランド	12月8日～9日	鈴木 一也
就労支援ネットワーク会議	サンメッセ鳥栖	12月21日	塩月 佐智子 田口 揚児 井上 志麻
居場所コーディネーター 養成講座	宿町公民館	1月12日	塩月 佐智子
新年情報交換会	ホテルマリターレ創世	1月18日	高崎 知洋 松尾 太敬 馬場 昭江 園田 裕介
働き方改革セミナー	佐賀市文化会館	1月21日	馬場 昭江
佐賀県指定障害福祉サ ービス事業者等集団指導	メートプラザ佐賀	1月28日	鈴木 一也
販売会セミナー	佐賀県地域産業支援センター	1月30日	松尾 太敬
佐賀県セルフ協視察研修	大牟田恵愛園	2月13日	渡辺 健
軽減税率に関する説明会	佐賀県社会福祉会館	2月20日	馬場 昭江
工賃向上成果発表会	メートプラザ佐賀	3月10日	高崎 知洋

3 防災管理

6月に風水害、11月に地震、3月に火災を想定した避難訓練をそれぞれ実施し、防火管理者を中心に様々な状況を想定し、トレーニングスタッフ、職員の防災意識の向上を図った。2月、農産加工場の火災探知機増設工事を行い、管轄消防署へ報告を行った。

4 施設設備及び環境の整備状況

- (1) 備品等の整備
- ・椎茸ビニールハウスの移設
 - ・更衣室の床上げ工事
 - ・リコーソフトウェアほのぼの
 - ・発電機

5 寄付

ご 芳 名
・みつばの会 様
・佐賀県共同募金会 様